

事例から学ぶ

内服薬の取り違えに関する事例 — 外観の類似に関連した事例 —

■事例の詳細



患者にセキノビット錠100mgが処方された際、薬剤師は誤ってデュファストン錠5mgを調製し、交付した。患者が服用直前に薬剤が異なることに気づき、薬局に連絡した。

■背景・要因

セキノビット錠100mgとデュファストン錠5mgはPTPシートが似ていた。忙しい時間帯であり、調製から交付まで一人に対応しなければならない状況であった。



■薬局から報告された改善策

忙しい場合でも一人で調製から鑑査まで行わず、取り揃えた薬剤の鑑査を他の薬剤師が行う。



処方された薬剤		取り違えた薬剤	
薬効分類	薬剤名	薬効分類	薬剤名
排卵誘発薬	セキノビット錠100mg	黄体ホルモン薬	デュファストン錠5mg
			

→この他にも事例が報告されています。

- ◆患者にテルミサルタン錠20mg「トーワ」が処方された際、調製者は、近くの薬剤棚に配置されていたベポタスチンベシル酸塩錠10mg「トーワ」を取り揃えた。鑑査者が取り違えに気付いた。

処方された薬剤		取り違えた薬剤	
薬効分類	薬剤名	薬効分類	薬剤名
降圧薬	テルミサルタン錠20mg「トーワ」	抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬	ベポタスチンベシル酸塩錠10mg「トーワ」
			

- ◆ ファモチジンOD錠20mg「トーフ」の薬剤棚にセチリジン塩酸塩錠10mg「トーフ」が混入していることに気付かず調製した。鑑査者が、調製されたファモチジンOD錠20mg「トーフ」にセチリジン塩酸塩錠10mg「トーフ」が混ざっていることに気付いた。

処方された薬剤		取り違えた薬剤	
薬効分類	薬剤名	薬効分類	薬剤名
酸関連疾患治療薬	ファモチジンOD錠20mg「トーフ」	抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬	セチリジン塩酸塩錠10mg「トーフ」
			

ポイント

- 医療用医薬品には包装の色調やデザイン、錠剤そのものの形状や色調が類似しているものがあり、外観の類似性は薬剤取り違えの要因となり得る。万一、誤った薬剤を患者に交付した場合、患者は本来必要とする薬剤を服用できないだけでなく、意図しない薬剤の服用により有害事象が生じるおそれがある。
- 外観の類似による薬剤取り違えを防ぐには、自薬局で採用している薬剤の中に外観が類似している薬剤の組み合わせがないか確認し、取り違えが起きやすい薬剤があれば保管・配置場所の見直しを行う、注意を促す札の掲示を行う、採用薬の変更を検討するなどの具体的な対策を講じることが重要である。
- 本事業には外観が類似した薬剤を棚に戻す際に間違えたことが要因となり、薬剤を取り違えた事例も報告されている。戻し間違いの防止策として、専用の箱に一時保管した後に業務が落ち着いてから薬剤を棚に戻すことや、複数人で確認しながら棚に戻すことなどの対策を手順書に定め、遵守することが重要である。
- 薬剤の取り違えを発見するには、目視による名称確認と組み合わせて調剤監査支援システムを活用することも有用である。使用する際は、運用方法を手順書に定め遵守することが重要である。

注1) 薬効分類は治療薬ハンドブック2024の記載を基に分類した。

注2) 製品の画像は、2025年12月時点の各製薬企業等のホームページより引用した。そのため、事例報告時とは異なる可能性がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>